

CALLERLAB 情報

ベーシック・メインストリームの定義改訂のご案内

今年になってから CALLERLAB より、「ベーシック・メインストリームの動作の定義」書き換え作業の結果の一部が4度発表されています。(3/9 付改訂、3/22 付修正、3/26 付改定、5/8 付改定)。

定義の書き換えは、2000 年初頭から、動作表記の分かりやすさ、標準化に努めて、各動作の記述を、1.動作名、2.動作を始める隊形、3.コール例、4.動作、5.動作を終わる隊形、6.タイミング、7.スタイリング、8.注釈の 8 項目に整理して、2008 年から順次「定義の改訂」として発表してきました。

今回の書き換え発表は、

- 37. Ocean Wave Family (オーシャン ウェーブ ファミリー)
- 39. Swing Thru (スウィング スルー) /
Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)
- 40. Run (ラン) / Cross Run (クロス ラン)
- 47. Flutterwheel (フラターウィール) /
Reverse Flutterwheel (リバース フラターウィール)
- 54. Eight Chain Thru (エイト チェイン スルー) /
Eight Chain 1, 2, 3, etc. (エイト チェイン 1,2,3,等)
- 56. Single Hinge (シングル ヒンジ) / Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)
- 65. Tag the Line (タッグ ザ ライン)
- 66. Half Tag (ハーフ タッグ)

の8つです。

現在、技術委員会・SD小委員会では、「BMS 動作の定義_改定第8版」を作成中ですが、今回改訂のあった動作の部分を抜き出しましたので、以下に掲載致します。学習の参考にして下さい。

2017年7月9日
技術委員会・SD小委員会

37. Ocean Wave Family (オーシャン ウェーブ ファミリー)

Ocean Wave Family (オーシャン ウェーブ ファミリー)は、Mini-Wave (ミニ ウェーブ)、Ocean Wave (オーシャンウェーブ) および Tidal Ocean Wave (タイダル オーシャン ウェーブ)の隊形に関する最も単純な二つの動作をまとめたものだ。

注: ‘Ocean Wave (オーシャン ウェーブ)とは、四人のダンサーで作られる隊形を指す。’ ‘追記’ ‘追記 A: 4-Dancer Formations (ダンサー4人の隊形)’ を参照。
‘Wave of 3 (ウェーブ オブ スリー)’ とか、‘Wave of 6 (ウェーブ オブ シックス)’ のような用語は、他の人数の隊形と同じように用いなければならない。

37. a. Step to a Wave (ステップ トゥ ア ウェーブ)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー

コール例:

Step To A Wave

Step To An Ocean Wave

Make A Wave

動作: ダンサーは小さく一歩前進し、右手をとる。

動作を終わる隊形: 右手の Mini-Wave (ミニ ウェーブ)。

タイミング: 2 拍。

スタイリング: ダンサーは皆、隣の人と、Hands Up (ハンズアップ) の位置で終わる。
(‘付加細目: Styling (スタイリング): Arms and Hands (腕と手)’ の項を参照。さらには‘総記 (General): Standardization (標準化) ‘も。)

注釈:

一般的に、‘Step To A Wave’ は、向かい合ったカプルにコールされ、右手の Ocean Wave (オーシャン ウェーブ) で終わる。

またダンサーは、左手の Ocean Wave (オーシャン ウェーブ) を求められる事もある。
(例えば、‘Step To A Left-Hand Wave.’ のように。

Ocean Wave Rule (オーシャン ウェーブの規則)は適用されない。

一部のダンサーにとっては、Facing Couples Rule (向かい合ったカプルの規則)を、適用するまえに、‘Step To A Wave (ステップトゥ ア ウェーブ)’ を付け加える必要もある。
‘総記’、‘Conventions and Rules (約束事と規則): Facing Couples Rule (向かい合ったカプルの規則)’ を参照。

37.b.Balance(バランス)

動作を始める隊形: Mini-Wave(ミニ ウェイブ)。

コール例:

Balance

Balance forward and back

Allemande Left In Alamo Style and Balance

Heads Square Thru 4; Step To A Wave; Balance

Dosado To A Wave and Balance, go forward and back

動作:

ダンサーは、各々、隣り合ってつないだ手に適度な緊張を保ったまま、一歩前に出てポーズ(瞬時停止)、その間、もう一方の足は体重を移動せずに前に出して床にタッチ。各々のダンサーは、体重のかかかっていない足から一歩下がってポーズ、他の足でその脇にタッチ。

動作を終る隊形: Mini-Wave (ミニ ウェイブ)。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

ダンサーは、動作の間、手は取ったまま。

ダンサーは、お互いの肩を超えて前に出ない。

注釈:

普通、Balance(バランス)は、Alamo Ring(アラモ リング) や、Ocean Wave(オーシャン ウェイブ)から、コールされる。

Ocean Wave Rule (オーシャン ウェイブの規則)は適用されない。

39. Swing Thru (スウィング スルー)/ Left Swing Thru(レフト スウィング スルー)

動作を始める隊形: Ocean Wave (オーシャンウェイブ、Alamo Ring (アラモ リング))。

コール例:

Swing Thru

Left Swing Thru

動作:

Swing Thru: 出来る人が右手で半回転(180度)し、次に出来る人が左手で半回転(1

80度)する。

Left Swing Thru: 出来る人が左手で半回転(180度)し、次に出来る人が右手で半回転(180度)する。

ダンサーは、グループで動かなければならない。

- Alamo Ring からは、全員で一つのグループをつくる
- それ以外は、アクティブ ダンサーが、一つまたはそれ以上の四人のグループをつくる

動作を終わる隊形: Ocean Wave(オーシャン ウェーブ)、Alamo Ring(アラモ リング)

タイミング: 6拍

スタイリング:

動作の間、手は Hands Up(ハンズアップ)にとる。(‘付加細目: Styling(スタイリング): Arms and hands(腕と手)’の項を参照。さらには’総記(General): Standardization(標準化)’も。) 動作の初めの部分と、次の部分は滑らかに続ける。

注釈:

Facing Couples Rule(向かい合ったカプルの規則)は、適用される。

Tidal Wave(タイダル ウェーブ)では、Swing Thru(スウィング スルー)は、各々半分の Ocean Wave(オーシャン ウェーブ)で踊られ、誰も Tidal Wave(タイダル ウェーブ)の中央をまたがっては踊らない。

Facing Couples Rule(向かい合ったカプルの規則)が、適用された後、Swing Thru(スウィング スルー)の始めの隊形は Wave(ウェーブ)か、Alamo Ring(アラモ リング)でなければならない。(以下に出てくるような拡張したアプリケーションは除いて)。Inverted Line(インバーテド ラインからの Swing Thru(スウィング スルー)のような使い方は不適當である。

拡張したアプリケーションでは、Facing Couples Rule(向かい合ったカプルの規則)が、適用された後ダンサーは3人あるいはそれ以上の Wave(ウェーブ)として一つのグループとして踊ることが出来る。この例では、コーラーと一緒に動くダンサーを明確に伝えなければならない。例えば、Heads Pass The Ocean; Extend; Boys Circulate 1 1/2; Girls Cast Off 3/4; In the Wave of 6, Swing Thru.のように。

8人のダンサーと一緒に動かせるのはとても扱いにくいし、十分な注意を払って用いるべきだ。というのは普通8人のダンサーは4人ずつのグループで動くからだ。8人のダンサーでの使い方は、この動きが達成できる、他のプログラムでのコール¹によっておかれている。

(脚注 1: Grand Swing Thru)

40. Run(ラン) / Cross Run(クロス ラン)

このコールでは、コーラーは何人かのあるダンサーを指名しなければならない：一般的には半数のダンサーが指名される。この定義では、runner(ランナー) または cross-runner(クロス ランナー)が指名されたダンサーであり、non-runner(ノンランナー)は、コールの間動くもう一人のダンサーだ。例えば、Boys Run(ボーイズ ラン)では、男子が runner(ランナー)で女子が non-runner(ノンランナー)になる。

Run(ラン)では、ダンサーはペアー(対)で動く。Cross Run(クロス ラン)では、4人のグループで動くが、cross-runner(クロスランナー)は、隊形の中央を超えて動く。

事例 1: Run(ラン)

始めの隊形: Mini-Wave(ミニウェイブ), Couples(カプル)。

コール例:

Boys Run

Centers Run

Women Run Right

Leaders Run

動作:

各 runner(ランナー・・・指示されたダンサー)は、右か左に non-runner(ノン ランナー)が居なければならず、これらのダンサーも一緒に動く。runner(ランナー)と non-runner(ノンランナー)は、場所を入れ替わる: runner(ランナー)は半円を描くように前方へ廻り、non-runner(ノン ランナー)の居たスポットに立つ(最初と逆の方向を向いて終わる)。その間に non-runner(ノン ランナー)は runner(ランナー)の居た位置に、顔の向きを変えずに移動する。

終わりの隊形: Couple(カプル)、Mini-Wave(ミニウェイブ)。

タイミング: 4 拍。

スタイリング:

手は終わりの隊形の取り方に(例: Couple(カプル)または Mini-Wave(ミニウェイブ))に合わせる。

注釈:

方向は指示されるが、これは non-runner(ノン ランナー)が runner(ランナー)との関係で何処にいるかを示している。このことはしばしば付加的に用いられるが(例: Swing Thru, Boys Run, Right)、曖昧さを避けるためには必要である。(例: Alamo Ring(アラ

モリング)や Circle(サークル)または Heads Square Thru, Touch 1/4, Center Girls Run Left など)。

まれに、指示された同じダンサーに並んだ人の周りを run(ラン)するように求める Run(ラン)の使い方もある。(例: End Boys Run Right, Left and Right)。あるいは指示されたダンサーに複数のコールをさせることも(例: Girls Cross Run and then Run)。

拡張したアプリケーションでは、runner(ランナー)一人に対して一人以上の non-runner(ノンランナー)を指名することがある。

例: 普通の外向きラインから End Boys Run Around 2。この例ではセンターのダンサーは non-runners(ノンランナー)である。エンズの男は半円を描くように歩いて、遠くのセンター位置で終わる。その間各 non-runner(ノンランナー)は、runner(ランナー)が動作を始めた方向に一つずれる。

コーラーによっては、しばしば Everyone Run のようなコールをする。例えば、外向きのラインからのこれは Partner Trade と等価である。と言うのは各 runner(ランナー)には non-runner(ノンランナー)が居ないので、この使い方は人目を引くための仕掛けである。(参照: ‘付加細目’, ‘Command(指示): ‘、’ Gimmicks(特異な動き)’。)

この仕掛けは、一部のダンサーだけが指示されるときは使うべきではない。例えば、Heads Pass the Ocean, Extend, Split Circulate の後に Boys Run とコールするのは不適當である。というのは、女子が non-runner(ノンランナー)として動くのか、全く動かないのかが不明確だから。妥当とするには、コーラーが Do Your Part を使えば良い。

(参照: ‘付加細目’, ‘Commands(指示): ‘、’ ‘Do Your Part(自分の動作すべき部分)’。)

メインストリームでは、ほとんどの場合 runner(ランナー)と non-runner(ノンランナー)は Mini-Wave(ミニウェイブ)あるいは Couple(カプル)から始める。non-runner(ノンランナー)が runner(ランナー)の肩を見て居るような他の使い方ではその前にワークショップをすべきだ。(例: Double Pass Thru 隊形から Centers Square Thru 4, Centers Run のような。)

事例 2: Cross Run(クロスラン)

動作を始める隊形: 一般的なライン。

コマンド例:

Girls Cross Run

Centers Cross Run

On Each Side, Centers Cross Run (from a Tidal Wave)

In the Center Wave, Centers Cross Run (from a Tidal Wave)

Ends Cross Run

動作:

ダンサーは、1 対 4 (1x4) 隊形で踊る。Cross-runner (クロスランナー (指示されたダンサー)) は、二人とも centers (センター) もしくは ends (エンズ) に居なければならない。他の二人が non-runner (ノン ランナー) になる。

Cross-runner (クロスランナー) は、遠くの non-runner (ノン ランナー) の居た位置まで半円を描くように前に進む (始めとは反対方向を向いて終わる)。つまり各々の cross-runner (クロスランナー) は、4 人のダンサー隊形の中央を横切る。

同時に、各々の non-runner (ノン ランナー) は、一番近くの cross-runner (クロスランナー) の居た位置に、顔の向きを変えずに移動する。この場所は、4 人のダンサー隊形の半分の位置になる。つまり center (中央) の non-runner (ノン ランナー) は一番近い ends (端) の位置に移動し、end (端) の non-runner (ノン ランナー) は、近くの center (センター) の位置に移動する。

動作を終わる隊形: 一般的なライン。

タイミング: 6 拍。

スタイリング:

手は終わりの隊形の取り方に(例: Couple (カプル) または Mini-Wave (ミニウェイブ)) に合わせる。

注釈:

Tidal Wave (タイダル ウェイブ) (もしくは他の 1 対 8 (1x8) 隊形) からは、コーラーは注意深く centers (センターズ) と ends (エンズ) を特定しなければならない。

(上記の Tidal Wave についての 'コマンド例:' および '総記', 'Way of Naming Dancers (ダンサーの呼び方)', 'Centers/Ends (センターズとエンズ)' を参照。)

Cross-runner (クロスランナー) が centers (センターズ) で、共に同じ方を向いている場合は、Half Sashay (ハーフ サッシェイ) と Run (ラン) を合わせて行うようにしながら、元の遠くの ends (エンズ) をまわる。

Cross-runner (クロスランナー) が ends (エンズ) に居て、同じ方向を向いている場合は、お互い右肩ですれ違う。

一般的なラインからの Everyone Cross Run のコールは、人目を引くための仕掛けだ。上記 Run (ラン) の終わりから二つ目の注釈を参照。

メインストリームでは、Cross Run (クロス ラン) は、ほとんどの場合、一般的なライン (General Line) からコールされる。他のコールについては、上記 Run (ラン) の最後の

注釈を参照。

47. Flutterwheel (フラター ウィール)/ Reverse Flutterwheel (リバース フラター ウィール)

動作を始める隊形： 向かい合ったカプル。

コマンド例：

Flutterwheel

Reverse Flutterwheel

Reverse The Flutter

動作：

右側のダンサーは、現在のパートナーから離れて、お互いに右手の Arm Turn (アームターン) を一回転おこない、始めの位置に戻って終わる。この動作を半分したところで、他のダンサー (言い換えれば始めに直接向かい合っていたダンサー) とカプルの手の取り方で手を取りあって、新しいカプルを単位として残りの Arm Turn (アーム ターン) 半分を行って動作を終わる。

Reverse Flutterwheel (リバース フラターウィール) では、左側のダンサーが左手の Arm Turn (アーム ターン) をすること以外は同じ動作を行う。

動作を終わる隊形： 向かい合ったカプル。

タイミング：8拍 (スクエア セットから、または All four ladies (オール フォア レディース) の時は12拍。

スタイリング：

外側で待っているダンサーは、わずかに向きを変えて近づいてくるダンサーの隣で新しいカプルになるように動きを合わせて、手を伸ばしカプルの手の取り方で手を取る。ダンサーによっては、手を取る前に、新しいパートナーの前にわずかに歩き出し、全体の動きが滑らかになるようにする。

外側のダンサーが女性の場合は、空いている方の手でスカートワークを行っても良い。

注釈：

'Ladies Lead, Flutterwheel' のような用語の追加は動作の変更をしないが、補助として意図されている。だが或る地域ではこの使い方は混乱を招く。というのはダンサーが、'Ladies Lead Dixie Style To A Wave' を予測してしまうからだ。

スクエアセット から‘All 4 Women Lead, Flutterwheel’や、’Everyone Reverse The Flutter’については、’付加細目：、’Extensions like Reverse Wheel Around(リバースウイール アラウンドのような応用)’‘の項を参照。

54. Eight Chain Thru (エイト チェイン スルー)/

Eight Chain 1, 2, 3, etc.(エイト チェイン 1、2、3等)

動作を始める隊形： エイト チェイン スルー。

コール例：

Eight Chain Thru

Eight Chain 3

Eight Chain 4

Eight Chain 1, Allemande Left

動作：

適切な数の動作を行う。

- 全員、右手 Pull By(プル バイ)。(エイト チェイン ワンの完了)。
- 中央で左手 Pull By(プル バイ)。エンズはCourtesy Turn(カーテシー ターン)。(エイト チェイン トウの完了)。
- 全員、右手 Pull By(プル バイ)。(エイト チェイン スリーの完了)。
- 中央で左手 Pull By(プル バイ)。エンズはCourtesy Turn(カーテシー ターン)。(エイト チェイン フォアの完了)。
- 全員、右手 Pull By(プル バイ)。(エイト チェイン ファイブの完了)。
- 中央で左手 Pull By(プル バイ)。エンズはCourtesy Turn(カーテシー ターン)。(エイト チェイン シックスの完了)。
- 全員、右手 Pull By(プル バイ)。(エイト チェイン セブンの完了)。
- 中央で左手を取り、通り過ぎる。エンズはCourtesy Turn(カーテシー ターン)を行う。(エイト チェイン エイトの完了)。

動作を終わる隊形：

エイト チェイン スルー(Eight Chain Thru)は、エイト チェイン スルー隊形で終わる。

エイト チェイン 1、3、5 などは、トレード バイ隊形で終わる。

エイト チェイン 2、4、6 などは、エイト チェイン スルー隊形で終わる。

タイミング：

エイト チェイン スルー 20拍。(エイト チェイン 1、3、5 など奇数動作の時には、それぞれ2拍を、エイト チェイン 2、4、6 など偶数動作の時には、それぞれに3拍を加える。(例：エイトチェイン3 = 2 + 3 + 2 = 7 拍)

スタイリング:

Right And Left Thru (ライト アンド レフト スルー)に同じ。中央で左手を取り、通り過ぎるダンサーは、外側で Courtesy Turn (カーテシー ターン)をする組と拍数を合わせるようにゆっくり動作を行う。

エイト チェイン スルー (Eight Chain Thru)の各部分は、エイト チェイン スルー 隊形またはトレード バイ隊形で終わる。ダンサーはWrong Way Grand(#8c) (ロング ウエイ グランド (#8c))のような円弧上の隊形にいつの間にかならないようにすべきである。

注釈:

Ocean Wave Rule (オーシャン ウェーブの規則)が適用される。

メインストリームでは、Courtesy Turn(#15) (カーテシー ターン(#15))は、男性が女性を回転させる時だけと、制限されている。従ってメインストリームでは、Eight Chain Thru (エイト チェイン スルー)は、Heads Square Thru 4, Sides Half Sashayの後では、不適切だ。しかしながら Eight Chain 3 (エイトチェインスリー)は妥当だろう。

56. Single Hinge (シングル ヒンジ)/Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)

Hinge (ヒンジ)は隣のダンサーとの Trade(トレード)の半分である。以下にメインストリームでの二つの Hinge (ヒンジ)を示す。

56a. Single Hinge (シングル ヒンジ)

動作を始める隊形: ミニ ウェーブのみ。

コマンド例:

Single Hinge

Hinge

Couples Circulate; Centers Hinge

Heads Pass The Ocean; Extend; Split Circulate; Girls Cast Off 3/4; Boys Hinge

動作:

Trade(トレード)の半分を行う。

動作を終わる隊形: ミニ ウェーブ。

タイミング; 2 拍。

スタイリング:

カプルはお互いに取り合った手を離さない。

注釈:

「Hinge 1/4(ヒンジ 1/4)という使い方は不適切だ。Hinge(ヒンジ)は Touch 1/4(タッチ 1/4)のように分割しては使えないから。

Partner Hinge(パートナー ヒンジ)の「(動作を始める隊形1: Couple only(カプルからのみ)の制限)」は、1988年にメインストリームから削除されている。

コマンドとしての Hinge(ヒンジ)は、'Single Hinge(シングル ヒンジ)'や'Partner Hinge(パートナー ヒンジ)'の代わりに使えるが、後者はメインストリームでは、不適切な使い方だ。

56b. Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)

動作を始める隊形: ワン フェイスト ラインまたはトゥー フェイスト ラインのみ。

コマンド例: Couples Hinge

動作: Couples Trade(カプル トレイド)の半分。

動作を終わる隊形: トゥー フェイスト ライン。

タイミング: 2 拍。

スタイリング: 各々のカプルは取り合った手を離さない。

注釈: Grand One Faced Line(グランド ワン フェイスト ライン)からの、Couples Hinge(カプルズ ヒンジ)は、右手のトゥー フェイスト ラインで終わる、(お互いきれいに並んだトゥー フェイスト ラインでズレはない。)

65. Tag the Line (タッグ ザ ライン)(In/Out/Left/Right – イン/アウト/レフト/ライト)

動作を始める隊形: ‘一般的なライン。

コマンド例:

Tag The Line

Tag The Line All The Way

Tag The Line, Face Right

Tag The Line, Left

Tag The Line, Face In

動作:

各々のダンサーは、その場でラインの中央を向くように 90° 度向きを変え、右肩をすれ違わせながら前進し、ラインの残り半分のダンサーとすれ違いながら、最後のダンサーとのすれ違いが終わるまで進む。もし顔の向きを指示されたときは、その場で、指示された方向へ 90 度向きを変える。

動作を終わる隊形:

Tag The Line では、背中合わせのタンデムで終わる。

Tag The Line, Face Right (または Left) では、右手をとった (または左手をとった) Two-Faced Line で終わる。

タイミング: 6 拍。

スタイリング:

腕は自然な手の位置におく。手は次のコールに備えて適当な位置に保つ。

もしセンターのダンサーが右手をとった位置から始めるときは、少し前進してからラインの中央を向くようにすれば、流れるような動作が可能となる。

注釈:

Tag The Line は 4 人のダンサーに対するコールである。一般的な 8 人のラインからコールで 'Each Side' (または 'Each Four') の言い回しは手助けになるが、必ずしも必要ではない。

Tag The Line で、方向の指示 'In' (または 'Out') とは、セットの中央に向かって (または離れるように) 回転することをいう。一般的なラインから、Tag The Line, Face In (または 'Out') では、向かい合ったライン (または背中合わせのライン) で終わる。

方向の指示は全てのダンサーに対して同じ訳ではない。例えば、'Tag The Line, Boys Face Left, Girls Face Right' のように。

拡張したアプリケーションでは、一般的なラインからの 'Tag The Line' には、6 人とか 8 人のダンサーからのラインもある。コーラーは注意深くラインを特定しなければならない。例えば 'Line of Eight, Tag The Line' のように。

メインストリームでは、二人のダンサーから成るラインでの適用は、不適當である。というのは、他のプログラムに、異なるコールがあるからだ。

66. Half Tag (ハーフ タッグ)

動作を始める隊形： 一般的なライン。

コマンド例：

Half Tag

動作：

Tag The Line (#65) (タッグ ザ ライン(#65))と同じようにラインの中央を向き前進するが、中央の人が向こう側の端にいた人と出会ったところで停止する。

動作を終わる隊形： 右手のボックス サーキュレイト。

タイミング： 4拍。

スタイリング：

中央で右手をとった形から動作を始めたときは、ラインの中央に向かって向きを変えながらわずかに前に歩を進める事で、流れるようなタイプの動作をすることが出来る。

オーシャンウェイブの手の取り方で終わる。

注釈：

Half Tag (ハーフ タッグ)は、4人のダンサーに対するコールだ。8人の一般的なラインから始める時は、'Each Side' (または'Each Four')という言い回しが有用だが、必ずしも必要ではない。

Half Tag (ハーフタッグ)の拡張したアプリケーションでは、6人や8人から成る一般的なラインからも始められる。コーラーはそのラインを明確に指定しなければならない。たとえば'Line of Eight, Half Tag'のように。

メインストリームでは、二人のダンサーから成るラインでの適用は、不適當である。というのは、他のプログラムに、異なるコールがあるからだ。

'Tag The Line (#65)' (タッグ ザ ライン(#65))のように、回転する方向を指示するのは可能だが、一般的ではない。例えば、'Half Tag, Face Right'のような。

'In'や'Out'のような方向を指示するのは、方向が明確に指定されている時だけに限るべきだ。'Couples Circulate, Couples Hinge, Each Side Half Tag, Face in'のように。もし結果のボックス サーキュレイトの中心が、セットの中心とずれているときは、'Face In'とか 'Face Out'のコールは避けるべきだ。例えば'Couples Circulate'に続けて'Half Tag'のような時には。